

## < 湯殿山 読図実技 >

オールランク、研修部

【山行日】 2019 年 11 月 10 日

【天 候】 快晴

【受講者】 E、K、S、F、M、Y

【スタッフ】 主任講師：H、アシスト：O・K・S、M SL：N

講師兼CL：H〔記〕

以上、参加者合計 13 名

【ルート】 野木町役場 7:00 出発・思川道の駅 7:10 出発 → 栗谷神社 8:30 集合 →  
鉄塔 → 351△ → 湯殿山 → 361P → 鉄塔 → 鉄塔巡視路 →  
中山登山口駐車場 → 野木町役場・思川道の駅

【交 通】 マイカー、1,200 円

1 班スタッフ 2 名+受講者 3 名、2 班スタッフ 5 名+受講者 3 名という班分けで研修をスタート。天候にも恵まれ、スタート前に多少のハプニングはありましたが受講者皆さんのレベルも高く、予定通りの山行でした。何気なくリーダーの後ろを歩きながら景色やおしゃべり、昼食を楽しむ山歩きもいいですが、地図読みを取り入れることで新たな世界が広がります。特に人気の少ない低山での山行にはおススメです。年 1 回の研修です。会員皆様のご参加をお待ちしています。

### < 感 想 >

11 月 10 日（日）良い天気にも恵まれた読図の講習で湯殿山の周辺を歩いてきました。今までは昭文社の地図とスマホを頼りにしてきた山歩きでした。コンパスから逃げていましたが、参加し教えていただくと、周辺の山々が表面だけでなく立体的に見える感じがし、名前がある山が特定できることで、友達が増えたような気持ちになり嬉しかったです。同じことを何度聞いても丹念に教えて頂いたことを感謝いたします。「独図」でなく本当の「読図」に慣れるように地図とコンパスを使いたいと感じました。【E】



コンパスを使う、と聞くと円を書くのかと思ってしまうような初心者ですが、読図研修で足利北部の山にやってきました。出発前にHさんが、「あの山が地図にある 280mの山。」と教えてくださいました。これが後の山座同定の伏線だとは露知らず。第2班は新人3人が順番に先頭を歩きます。尾根をはずれないようにと、笹で顔を打たれながら必死に進むと、講師陣は横の歩き易い所を余裕で歩いておられます。現在地はどこなのか、よくわかりません。隠れピーク、隠れコルが惑わせます。高さや距離の感覚が必須です。見晴らしのいい地点で、山座同定。「あれがさっきの 280mだよ。」とバラす方がおられたので、発見の喜びはそがれてしまいましたが(笑)。講師のHさんが地図と山を結び付けてくださいます。昔の登山道、伐採や鉄塔整備のための道など、山を知り尽くしていることに驚きました。1つの山を知ること、1冊の本を読みこむような喜びなのだと思えます。

また、地形図とコンパスを持っていたなら、以前のように1人で道を失って青ざめることもなかったことでしょう。研修部の皆さん、折に触れて声をかけてくださり有難うございました。同行の皆さんとも楽しく山行ができました。でも、おしゃべりに夢中になっていると、道標を見逃してしまうのでした。【K】



数十年前までは、誰もが電話番号を数十件から数百件覚えていました。この僕も5、60件は覚えていました。現代は、電話に限らず地域へのアクセスでさえナビに頼ってしまいロードマップも見なくなってしまいました。登山も同様に携

帯アプリにGPS。積極的に利用することで登山が身近になり楽しむ人が増え、すそ野が広がることは良かったのですが、安易な登山から事故が多くなったのも事実。私たちはGPSとアプリの正しい利用と地図読みの大切さを知る必要があると感じた読図講習でした。登山に大切な一つ、地図を読む「読図」。【S】

天候には恵まれましたが初めての読図実技に緊張の連続でした講師ならびに先輩方の丁寧なご指導感謝いたしますこの経験を山行にもいかして行きたいと思えます機会があればまた参加したいと思います。【F】

講師及びアシストの方々お世話になりました。当日は、道もない斜面を登ってゆくという、子供の頃以来久しぶりの経験で、スタートから楽しみました。コンパスを使いながら、地図と実際の地形を比べてみることを丁寧に教えて頂いて、少しずつ地図が理解できるようになったと思います。等高線の10mの中に含まれるアップダウンは今であまり考えたことがなかったので「なるほど!」と納得しまし



た。これからは、教えて頂いた事を忘れないように復習をしたいと思います。ありがとうございました。【M】

暖かな秋晴れのなか、先日、座学で学んだ予備知識を元に右手にコンパス左手に地図を持ち、読図の実技に参加しました。登山口から藪こぎと聞いてはいましたが、予想以上になかなか手ごわかったです。ポイントごとにチェックをし、現在地の確認、地図とにらめっこ、よし、何となく分かってきた、苦手な読図も少し楽しくなってきたかなあと思える山行になりました。近いうちに、コンパスを上手に使えるかな。また、フォロー読図山行がありましたら、参加させて頂きたいと思います。講師、アシストの皆様ありがとうございました。【Y】